

小平町文化交流センター開館10周年記念・三井住友海上文化財団派遣コンサート

## NHK交響楽団メンバーと日本のトップアーティスト 「音楽世界一周の旅」

《 出 演 》

- 【日 時】：9月4日(木) 開場 18:30 開演 19:00  
【会 場】：小平町文化交流センター 多目的ホール  
【主 催】：小平町、小平町教育委員会、北海道教育委員会  
(財)三井住友海上文化財団  
【後 援】：小平町文化交流センターサポーターズクラブ  
【前 売 券】：一般 1,000円 高校生以下 500円  
(このコンサートは(財)三井住友海上文化財団の助成により  
低料金に設定してあります。)  
\*未就学児のご入場はご遠慮ください。(託児室あり、要予約)  
\*車椅子でお越しの方は事前にご連絡下さい。  
【チケット発売】：7月9日(水)から発売開始



## 「日野皓正クインテット 北海道ライブツアー'08 秋の陣」

- 【日 時】：10月4日(土) 開場 18:00 開演 18:30  
【会 場】：小平町文化交流センター 多目的ホール  
【チケット発売】：7月1日(火)から発売開始  
【前 売 券】：全席自由 前売り券 3,500円 当日券 4,000円  
\*チケットは300枚限定です。完売すると当日券の販売はございません。  
\*未就学児童の入場はご遠慮ください。(託児あり、要予約)  
\*託児を利用される方は公演日の1週間前までに予約ください。  
\*車椅子でご来場される方は事前にご連絡ください。  
【主 催】：小平町文化交流センターサポーターズクラブ  
【共 催】：(財)北海道文化財団  
【後 援】：北海道、北海道教育委員会、小平町、小平町教育委員会



【チケットセンター】：文化交流センター、鬼鹿支所、達布支所、小平セブンイレブン、鬼鹿ローソン  
吉崎レコード、さしかわ楽器店、ビューネ、FMもえる、留萌管内教育委員会

【お問合せ】：Tel 56-9500 Fax 56-9555

E-mail obira@hokkai.or.jp HP <http://www.o-sc.net/cgi-bin/>

## 小平郷土資料通信 No. 35

### 初代村山伝兵衛の来歴

先月号では臼谷弁財天碑について考えるために、弁天信仰について書きました。今回は弁財天を建てたとみられる村山伝兵衛という人物について北海道開拓記念館『村山家資料目録』から概観してみます。

臼谷弁財天碑を建てたとみられる初代村山伝兵衛は、天和3年(1683)に能登国羽咋郡阿部屋村(はくいぐんあぶやむら)、現在の石川県羽咋郡志賀町阿部屋に生まれます。彼は、故郷の阿部屋村からとった「阿部屋(あぶや)」を商号にして松前の大商人に成り上がっていきます。伝兵衛が渡道した頃は、大坂では井原西鶴(いはらさいかく)が好色物を書き、近松門左衛門(ちかまつもんざえもん)の心中物がはやり、松尾芭蕉が奥の細道を歩き、富をたくわえた庶民が欲望や教養を開花させた町人文化華やかな元禄(げんろく)の頃とみられています。伝兵衛も当時、力を持ち始めていた町人の一人だったのでしょう。彼は、はじめ同郷で先に松前で活躍した城下商人張江(はりえ)家の使用人となり、船頭として頭角をあらわしたと言います。その後、古屋勘左衛門(ふるやかんざえもん)の娘れんの養子になり城下に籍を持ち、松前での商売の基盤を築いたと言います。この頃、他国人が商売をするためには「宿請(やどうけ)」といって、城下での保証人を得ることが不可欠でした。古屋勘左衛門は松前藩主が参勤交代(さんきんこうたい)に使う船の船頭役を勤める松前藩士で保証人には申し分のない人でした。伝兵衛の生まれた能登は後に北前船(きたまえぶね)の根拠地となる地域、勘左衛門は船乗りとしての彼の手腕を評価していたのかもしれない。さらに、松前藩御用の回船業を営み5艘もの手船を所有して、ソウヤ・トママイ・ルルモツペ・イシカリの場所請負に従事し、宝暦7年(1757)没したとされています。

臼谷の弁財天碑が建てられた享保21年(1736)は、初代伝兵衛53歳の頃のものと考えられます。次号では村山伝兵衛とルルモツペ場所の関わりをみていきます。

7月の古文書解説講座の予定  
22日に実施します